

全建発第27～158号
平成27年 8月21日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫

印省略

第617回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万2千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い安全な国土づくり、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、これからの社会インフラの維持管理・更新など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第617回建設技術講習会では、道路行政における最新の道路行政施策、道路のストック効果、道路の老朽化対策、道路防災・震災対策（災害対策基本法の改正）、交通安全対策など、港湾・漁港行政における最新の港湾・漁港行政施策、国際競争力の強化、港湾施設の維持管理、環境対策、防災・減災対策、地域の活性化、循環型社会の形成などについて具体の取り組みや最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫 印省略

第617回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成27年10月21日(水)～23日(金)、仙台市において標記講習会を開催いたします。

本講習会では、道路行政における最新の道路行政施策、道路のストック効果、道路の老朽化対策、道路防災・震災対策（災害対策基本法の改正）、交通安全対策など、港湾・漁港行政における最新の港湾・漁港行政施策、国際競争力の強化、港湾施設の維持管理、環境対策、防災・減災対策、地域の活性化、循環型社会の形成などを学び、最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は宮城県・仙台市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般（非会員）		会員	
一般（非会員）（下記以外の者）	18,400円	正会員、特別会員、賛助会員（下記以外の者）	13,400円
宮城県内の国・県・政令市に勤務	13,400円	30歳未満〔全国〕	2,000円
宮城県内の市町村に勤務	2,000円	地元〔宮城県内の国・県・政令市に勤務、特別会員〕	2,000円
地元学生	0円	宮城県内の市町村に勤務	0円

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※正会員のうち30歳未満〔全国〕及び地元〔宮城県内の国・県・政令市に勤務、特別会員〕は割引価格のため、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,800円〔うち昼食代1,200円〕

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「617」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成27年10月2日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

① 平成27年10月9日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
② 平成27年10月16日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

主催：(一社)全日本建設技術協会、宮城県(予定)、仙台市(予定) 後援：国土交通省

第617回建設技術講習会(道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題)日程

～道路行政及び港湾・漁港行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

(道路)最新の道路行政施策、道路のストック効果、道路の老朽化対策、道路防災・震災対策(災害対策基本法の改正)、交通安全対策 など
(港湾・漁港)最新の港湾・漁港行政施策、国際競争力の強化、港湾施設の維持管理、環境対策、防災・減災対策、地域の活性化、循環型社会の形成 など

会場 ……【合同/2日】道路】パレスへいあん(3階グレース)
【2日】港湾・漁港】 (5階エトワール)
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-2 TEL022-265-5111(代)

(1日目)		平成27年10月21日(水)【合同】グレース		(敬称略)
12:40 13:00	あいさつ	宮城県知事 仙台市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	村井 嘉浩 奥山 恵美子 中嶋 章雅	
13:00 14:00	いま社会資本に何が求められているのか ～事業プロセス及び維持管理の合理化・高度化、 新たなまちづくり～	(公社)土木学会計画学研究小委員会 委員 (株)スマートインフラ総合研究所長	吉田 正	
14:10 15:10	知恵を使う地域づくり、国づくり	東北学院大学教養学部地域構想学科 教授	柳井 雅也	
15:20 16:20	【特別講演】 みやぎの復旧・復興について	宮城県土木部 技監兼次長(技術担当)	久保田 裕	
16:30 16:50	【地域事業の紹介①】 岩沼市防災集団移転促進事業「玉浦西地区」の まちづくりについて	岩沼市建設部 復興・都市整備課長	星 幸浩	
16:50 17:10	【地域事業の紹介②】 大手町下増田線 増田道路改築事業について	宮城県仙台土木事務所道路建設第二班 技術主幹(班長)	永澤 浩司	
17:10 17:30	【地域事業の紹介③】 南蒲生浄化センター災害復旧工事について	仙台市南蒲生浄化センター 所長	加藤 公優	
17:30 17:50	【地域事業の紹介④】 名取海岸災害復旧事業について	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所長	宮田 忠明	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:45～20:15(予定))		パレスへいあん 3階「グレース」(予定) TEL022-265-5111	※開催場所が変更になる場合があります。	
(2日目)		10月22日(木)【道路部門】グレース		(敬称略)
9:40 10:40	道路行政における主要課題について及び地域特性を 活用した「道の駅」による地域活性化について	国土交通省道路局企画課 道路計画調整官	水野 宏治	
10:50 11:50	道路の老朽化対策の取り組みについて	国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画室 企画専門官	田中 倫英	
13:00 14:00	道路防災・震災対策について ～災害対策基本法の改正について～	国土交通省道路局国道・防災課 道路防災対策室長	吉田 敏晴	
14:10 15:10	交通安全施策をめぐる最近の動向について	国土交通省道路局環境安全課 道路交通安全対策室長	酒井 洋一	
15:10	閉会のあいさつ	宮城県建設技術協会長 (宮城県仙台土木事務所長)	門傳 淳	
(2日目)		10月22日(木)【港湾・漁港部門】エトワール		(敬称略)
9:40 10:40	港湾行政における主要政策課題について	国土交通省港湾局計画課企画室 専門官	滝川 尚樹	
10:50 11:50	港湾施設の維持管理に関する取り組みについて	国土交通省港湾局技術企画課 港湾保全企画室長	坂井 功	
13:00 14:00	港湾における防災・減災対策について ～港湾BCPの推進～	国土交通省港湾局海岸・防災課 災害対策室長	野澤 良一	
14:10 15:10	漁港漁場行政における最新情報について	水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐	高原 裕一	
15:10	閉会のあいさつ	仙台市建設技術協会長 (仙台市都市整備局長)	小島 博仁	
(3日目)		10月23日(金)【現場研修】		(敬称略)

JR仙台駅東口(8:15)出発

- 大手町下増田線 増田道路改築事業(下車説明) → 名取海岸災害復旧事業(下車説明)
- 昼食(塩竈市内) → 仙台塩釜港塩釜港区災害復旧・復興事業(下車説明)
- 南蒲生浄化センター災害復旧工事(下車説明) → JR仙台駅(16:30)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第617回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 大手町下増田線 増田道路改築事業

…………… 名取市

都市計画道路大手町下増田線は、仙台市の南に隣接する名取市の中心市街地を東西に連絡する路線であり、「仙台空港臨空都市整備基本計画」に位置づけされた仙台市と仙台空港を結ぶ幹線道路となっています。

本事業区間は、JR東北本線及び一級河川名取川水系増田川が南北に縦断していることにより、東西交通が分断され、踏切周辺では、朝夕、著しい渋滞が慢性化している状況となっていることから、JR東北本線、一般県道仙台名取線（旧国道4号）及び一級河川名取川水系増田川を橋梁（橋梁区間延長 $L=244.7\text{m}$ ）により立体的に横断することで、東西を連絡する道路交通ネットワークの強化、交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図ることとし、平成19年度より事業に着手しています。



なお、橋梁形式は、JR東北本線横断部が単径間鋼床版箱桁橋（橋長 $L=42.8\text{m}$ ）、一般部が3径間連続鋼箱桁橋（橋長 $L=145.2\text{m}$ ）、増田川横断部が単径間鋼床版箱桁橋（橋長 $L=56.7\text{m}$ ）となっており、現在は、橋梁上部工を施行しており、平成28年度末の供用に向け、事業を進捗しております。

2. 名取海岸災害復旧事業

…………… 名取市

仙台湾南部海岸は、宮城県仙台市から福島県境までの3市2町（仙台市、名取市、岩沼市、亘理町、山元町）にわたる延長約65kmの長大な海岸線と砂浜を有する海岸です。このうち、名取海岸は、背後に仙台空港等がある重要な区間で、震災後速やかに制定された「東日本大震災による被害を受けた公共土木施設の災害復旧に係る工事の国による代行に関する法律（代行法）」に基づき、宮城県知事の要請を受け、国土交通省が堤防復旧を実施した区間（代行区間）です。東日本大震災では、想定を超えた大津波の来襲により名取市に位置する名取海岸の海岸堤防が全半壊の被害を受けました。海岸堤防の復旧構造については、計画堤防高を超える津波が来襲し海岸堤防の天端を越流した場合でも、堤防の破壊、倒壊するまでの時間を少しでも長くする、もしくは堤防が全壊に至る危険性を少しでも低減させるといった減災効果を目指して検討し、最終的に国土技術政策総合研究所による模型実験を基に、堤防が粘り強く効果を発揮するための構造上の工夫を行いました。また、名取市で発生した震災がれき（津波堆積土、コンクリート殻）約4.9万 m^3 を盛土材及び裏込材、基礎中詰材に活用しました。さらに、希少な動植物に対して環境の専門家にご指導を受けながら対応しました。平成24年1月29日の着工式から本復旧工事を開始し、平成26年3月に災害復旧事業約4kmが完成しました。



名取海岸災害復旧事業（仙台空港付近から）

海岸堤防が全半壊の被害を受けました。海岸堤防の復旧構造については、計画堤防高を超える津波が来襲し海岸堤防の天端を越流した場合でも、堤防の破壊、倒壊するまでの時間を少しでも長くする、もしくは堤防が全壊に至る危険性を少しでも低減させるといった減災効果を目指して検討し、最終的に国土技術政策総合研究所による模型実験を基に、堤防が粘り強く効果を発揮するための構造上の工夫を行いました。また、名取市で発生した震災がれき（津波堆積土、コンクリート殻）約4.9万 m^3 を盛土材及び裏込材、基礎中詰材に活用しました。さらに、希少な動植物に対して環境の専門家にご指導を受けながら対応しました。平成24年1月29日の着工式から本復旧工事を開始し、平成26年3月に災害復旧事業約4kmが完成しました。

3. 仙台塩釜港塩釜港区災害復旧・復興事業

…………… 塩竈市

仙台塩釜港は、仙台湾に位置し、仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区の4つの港区からなり、平成24年10月に国際拠点港湾仙台塩釜港、重要港湾石巻港、地方港湾松島港の3港の統合により誕生した国際拠点港湾です。平成23年3月11日の東日本大震災による地震と津波により、仙台塩釜港の各港区では航路・泊地の埋没や、防波堤・岸壁・臨港道路・防潮堤等の沈下および損壊など全域において甚大な被害を受けました。

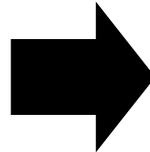
仙台塩釜港の復旧にあたっては、まず物資および燃油の早期供給を図るため、被災程度の低い岸壁や石油基地へ繋がる航路・臨港道路・荷捌き地を、国土交通省と自衛隊、宮城県の3者が連携して、優先的に啓開作業を行い、平成23年3月15日に仙台港区高松ふ頭で緊急物資輸送を開始、同年3月21日に塩釜港区の石油基地で2,000kℓ油送船が初入港、同年3月23日に石巻港区中島ふ頭で緊急物資輸送を開始しました。また、臨港道路の沈下、防潮堤・護岸の流出倒壊による冠水対策として、盛土や土嚢で応急復旧にあたりました。

今回現場をご覧いただく塩釜港区は塩竈市と宮城郡七ヶ浜町に港湾施設・海岸保全施設があり、塩釜港区の災害復旧事業において、港湾施設、海岸保全施設併せて117件の災害査定が認められ、現在、各施設の災害復旧工事を行っており、復興事業においては、防潮堤の新設、緑地整備等の工事を行っているところです。

仙台塩釜港（塩釜港区） 南町防潮堤（災害復旧事業）



被災状況（沈下等）



嵩上げ後

4. 南蒲生浄化センター 災害復旧工事

…………… 仙台市宮城野区

仙台市の下水道施設は仙台市内に7つの処理区（うち2つは流域関連）、4,530kmの下水道管、244ヶ所のポンプ場、5ヶ所の浄化センターがあり、仙台の水環境と市民の皆様の安全を守るため、日夜稼働しています。また3ヶ所の地域下水道、15ヶ所の農業集落排水施設があります。仙台市南蒲生浄化センターは、仙台市汚水の約7割、日平均約32万m³の下水処理を担う下水処理場ですが、東日本大震災に伴う津波により、主要な土木、建築構造物が破壊され、機械、電気設備が冠水、流出するなど、処理機能に壊滅的な被害を受けました。そのため、南蒲生浄化センターの早期復旧が最重要課題であり、復旧に当たっては、災害の教訓を生かして地震や津波に強く、環境にも配慮した未来志向型の下水処理場として再生させることとなりました。平成27年度末を目標に本復旧工事を進めています。本復旧までの暫定処理期間においては、段階的な処理水質の向上に努め、平成24年3月末からは接触酸化法による中級処理を開始しています。



第617回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には仙台市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって	当日	宿泊開始後及び
4日前まで	(宿泊開始前)	無連絡不泊
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成27年10月20日(火), 21日(水), 22日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテル モンテ エルマーナ仙台 仙台市青葉区花京院1-2-15 Tel.022-721-7501	シングル	30名	8,640円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成27年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第617回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳未 満	道 路	港 湾・ 漁 港			10月 20日	21日	22日
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)								↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
現場研修料 名×7,800円＝ 円												
計								円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第617回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成27年10月21日(水) 18:45～20:15(予定)
(第617回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：パレスへいあん 3階「グレース」(予定)
※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|------------------------------|----------|
| ・(公社)土木学会計画学研究小委員会 委員 | 吉田 正 講師 |
| ・宮城県土木部 技監兼次長(技術担当) | 久保田 裕 講師 |
| ・国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所長 | 宮田 忠明 講師 |
| ・国土交通省道路局企画課 道路計画調整官 | 水野 宏治 講師 |
| ・国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画室 企画専門官 | 田中 倫英 講師 |
| ・国土交通省港湾局計画課企画室 専門官 | 滝川 尚樹 講師 |
| ・国土交通省港湾局技術企画課 港湾保全企画室長 | 坂井 功 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com